～歴史と文化のまち　つやま～

津山市文化振興ビジョン

津山市教育委員会

はじめに

文化は人々に心の豊かさや元気をもたらすとともに、生活にゆとりや活気をもたらし、郷土への誇りや愛着を深める大きな役割を果たすものであります。

しかし、社会情勢は人口減少や少子高齢化が進み、経済情勢とも相まって文化芸術を取り巻く環境は必ずしも好ましいとはいえない状況です。

このような状況であるからこそ、人間の本質に根ざす文化は人々に心の豊かさや元気をもたらすとともに生きる糧となり、また、多様な文化に触れ親しむことで活気溢れる地域社会を創り出していくうえで、大きな役割を果たすものであります。

このたびの津山市文化振興ビジョンの改定にあたっては、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等の関連分野における施策との有機的な連携を念頭に、本委員会でのご意見や市民アンケートの調査結果また、地域に伝わる伝統文化の次世代の担い手不足の課題等を踏まえて、文化振興による津山市の目指す姿を思い描いて改定を行いました。

こうした中、今回改定した「津山市文化振興ビジョン」を指針として、市民、芸術家や関連団体等と力を合わせて、地域に根付いた津山の文化に愛着心と誇りを持ち、継承・創造・発信しながら発展させ、本市の文化振興の充実を図ってまいる所存ですので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本ビジョン策定にあたりご協力いただきました検討委員会の委員の方々をはじめ、関係各位に対しまして心からお礼申し上げます。

令和２年３月

津山市教育委員会
教育長　有本 明彦

目次

１．ビジョンの推進にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（１）策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（２）ビジョンの位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（３）ビジョンの期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（４）ビジョンで取り上げる「文化」の範囲・・・・・・・・・・・・・・・３

２．本市の文化行政の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

３．本市の文化行政の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

４．本市の文化行政の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

５．ビジョンの推進に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（１）市民の文化活動の活性化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（２）文化の保存・活用・継承・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（３）文化施設の整備と活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
（４）文化情報の収集と提供・発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
（５）文化振興推進体制の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

６．資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

１　ビジョンの策定にあたって

（１）策定の趣旨

物質的な豊かさが達成され、価値観の多様化が進む中、生きがいやうるおいといった心の豊かさを実感する生活が求められています。このような時代において、『文化』は、私たちに楽しさや感動、安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするとともに、社会・地域経済に活力を与える力を持っています。

「文化の世紀」ともいわれる 21 世紀を迎え、国においては、文化芸術を振興するための法律として「文化芸術基本法」（注１）や「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（注２）を制定し、また、岡山県においても、「岡山県文化振興基本条例」（注３）や「おかやま文化振興ビジョン」（注４）の策定など文化芸術の振興により、活力ある社会と心豊かな生活の実現を目指すことを明確にしています。また、国は東京オリンピック・パラリンピック開催による、文化を通じた世界の人々の往来、交流を生み出す「世界の文化交流のハブ」を目標に掲げています。（注５）

また、平成３１年４月の文化財保護法改正は、食文化・郷土芸能・言葉などを新たに文化財として位置づけ、次世代への継承を目指すことを明確にしました。（注６）

本市においては、平成 28 年度策定の「津山市第５次総合計画」（注７）において、「子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり」を開花プログラム（まちづくりの大綱）に掲げられた、「芸術文化活動の充実」、「歴史文化の継承と文化財の保存・活用」に取り組んでいるところですが、人口減少社会が到来し、過疎化や少子高齢化の影響により、文化芸術を担う人材の育成や郷土愛の醸成など、さらなる文化の振興が求められています。

このような背景の中、平成 28 年改訂の第Ⅱ期ビジョン策定以降に変化した社会情勢等を踏まえ、本市の文化振興の基本的な考え方や施策の方向を明確にし、文化振興施策の総合的な推進を図り、心豊かで活力ある市民生活を実現するため、「津山市文化振興ビジョン」を改訂するものです。

（注1）平成13年12月、文化芸術全般にわたる基本的な法律として制定されたが、現在の少子高齢化等の著しい社会状況の変化に対応するため、観光、国際交流、福祉、教育、産業等の関連分野における施策を本法の範囲に取り込み改正した。平成29年6月改正。

（注2）劇場、音楽堂等の活性化を図るため、劇場、音楽堂等を設置・運営する者、実演芸術団体等、国、地方公共団体の役割等を定めている。平成24年6月施行。

（注3）文化の振興について、基本理念や県の責務等を明らかにするとともに文化の振興に係る基本的施策を定めている。平成18年4月施行。

（注4）国民文化祭の開催を契機として岡山県の文化のさらなる発展を図るため、岡山県文化振興基本条例に基づき策定。平成20年2月策定。

（注5）「文化芸術の振興に関する基本的な方針について（第4次基本方針）」　平成27年5月22日閣議決定。

（注6）改正文化財保護法　平成31年4月1日施行。

（注7）津山市のまちの将来像を掲げ、今後の進むべき方向性を示す、まちづくりの基礎となる計画。平成28年度から令和7年度までの10ヵ年計画。

（２）ビジョンの位置づけ

本ビジョンは、本市のまちづくりの基本理念及び将来像とその実現方向を定めた政策大綱である「津山市第５次総合計画」の趣旨や方向性を踏まえ、その基本計画に掲げる「芸術文化活動の充実」、「歴史文化の継承と文化財の保存・活用」を効果的に推進するための基本的な指針とします。また、国、県の長期ビジョンや津山市教育振興基本計画、その他これらに類する諸計画との整合性を図ることとします。

（３）ビジョンの期間

本ビジョンの期間は、「津山市第５次総合計画」との整合性を図るため、令和２年度から令和７年度までとします。

（４）ビジョンで取り上げる「文化」の範囲

文化は、人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果で、衣食住を始め技術・学問・芸術・道徳・宗教・政治など生活形成の様式と内容を含むものです。こうした広い概念である文化について、その対象範囲を明確にし、それぞれの分野に応じた取組みが必要です。

本ビジョンで取り上げる「文化」の範囲は、岡山県の文化振興施策との整合性を図るため、「おかやま文化振興ビジョン」に掲げる分野と同一とします。

◇芸術（文学・音楽・美術・書道・写真・演劇・舞踊・工芸・デザインなど）、メディア芸術（映画・漫画・アニメーション・コンピュータなどを利用した芸術など）

◇生活文化（茶道・華道・囲碁・将棋・民芸・郷土料理・ファッションなど）、文字・活字文化

◇伝統文化（地域の歴史と風土の中で育まれてきた文化財・工芸・民俗芸能・祭り・行事・方言など）

２　本市の文化行政の現状

本市の文化行政については、津山市第 5 次総合計画に基づき、平成 28 年に改訂した津山市文化振興ビジョンを指針に取り組んできました。現状の取り組みの概要は、以下のとおりです。

○創作活動の支援と発表・鑑賞機会の提供

・市民の創作意欲の向上と鑑賞機会の充実を図るため、西東三鬼賞、津山川柳大会、文化教室、津山市写真展などを開催しています。

・（公財）津山文化振興財団による、多くの市民が出演する津山市民総合音楽祭や、クラシックからポピュラーまで幅広い分野の音楽を取り上げる津山国際総合音楽祭の開催など、音楽文化の振興に努めています。

○文化芸術環境の整備

・津山文化センター、音楽文化ホール・ベルフォーレ津山、市立文化展示ホール、津山市加茂町文化センター、津山市勝北文化センター、ポート アート＆デザイン津山（旧妹尾銀行林田支店）の指定管理により、市民の文化活動・生涯学習活動の場を提供しています。

・市民文化の振興を図るために設置された「津山市文化振興事業基金」により、文化普及活動などへの助成を行っています。

・文化芸術活動で優秀な成績を収め、全国規模の大会、文化芸術祭等に出場・出品する団体に対して「津山市文化芸術激励金」を交付しています。

○文化団体への支援

・（公財）津山文化振興財団、津山市文化連盟への助成を行い、文化芸術活動の活性化を図っています。

○博物館等の整備

・文化財等の資料を収集・保管・研究し、その成果を展示して広く市民に公開するため、津山郷土博物館、津山洋学資料館、津山弥生の里文化財センターを整備しています。

○歴史遺産・文化財の保存、活用

・本市では歴史的町並みや伝統行事、伝統芸術など、地域で守り伝えられてきた有形・無形の文化遺産の調査研究を進め、一体的かつ総合的な保存・活用の推進と整備を図り、次代に継承しています。

・貴重な歴史的文化遺産を次世代に継承するため、積極的に文化財の指定や登録を行うとともに、指定文化財の保存修理・保存管理を進め、文化財の保存・活用を図っています。

・文化財の調査研究を進め、記録保存や調査研究の公表に努めています。

3　本市の文化行政の課題

本市の文化行政における課題は、以下のとおりです。

1　文化活動の主体に関するもの

・文化団体をけん引する若い人が必要。
・若い人たちからの企画や参加を積極的に促すことが必要。
・文化活動の研究や意義を学校・大学等と連携し、専門的に深化、拡充することが必要。

2　市民の文化活動に関するもの

・市内各行事が分散して行われているので、団体間の連携が必要。
・文化を支えていくための担い手や団体の育成・支援が必要。

3　文化芸術環境に関するもの

・子どもをはじめ、誰もが本物に触れる機会の充実と文化活動や創作活動に参加できる環境作りが必要。
・芸術祭など優秀な芸術を身近に感じることができる機会が必要。
・優秀な美術に関する拠点整備が必要。
・環境整備の効果的な実施のため、関係部署との連携を図ることが必要。

4　行政・市民・文化団体及び生涯学習団体の連携

・市と、民間の施設や団体は、適切な役割分担と一層の連携を図ることが必要。
・文化を育む際には、行政・市民・団体の間で連携を行うことが必要。
・すべての文化の範囲を網羅するためには、有識者や専門家の協力が必要。

5　伝統文化の保全・継承・活用

・伝統文化は地域の歴史と風土の中で育まれてきたものであり、地域に愛着を持てる活動が必要。
・伝統文化や伝統工芸、民俗芸能、祭り、行事など、それぞれの地域で継承しているもの、失われつつあるものを整理して、後世に伝えていくことが必要。
・文化財を地域活性化に活用し、人を集める仕組みづくりが必要。
・市民と共に伝統文化の保全・継承を図る施策が必要。
・歴史について教科書等で学習し、子どもたちの郷土を愛する心を育む事が必要。

６　情報発信に関するもの

・ニーズに応じた柔軟な情報発信を行うことが必要。
・情報化社会に対応したホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービス（ＳＮＳ）、動画共有サービス（YouTube 等）による情報発信、また観光分野とも連携した文化情報の効果的な発信が必要。
・関係者が連携してイベント等への誘客を十分に行うことが必要。

４　本市の文化行政の基本方針

長い歴史と特色ある風土に培われた文化遺産の保存と活用に取り組み、地域に愛着と誇りを持てる文化を育みます。文化活動を活性化し、個々の市民の人生を豊かにすることで、地域社会や経済に活力を与えるものです。

○市民が文化を育むまち

文化活動の主体は市民です。本市は、市民が自己実現や生きがいづくりのために行う、自由で、かつ自主的な文化活動を尊重しこれを支援するという視点から、既成の文化だけではなく、これから芽生えようとするものにも目を向け育む環境づくりと支援に努めます。

○幼少期から文化に触れるまち

ふるさとに誇りを持ち、愛着を感じ、次代の文化の担い手や鑑賞者となるためには、幼少期から文化芸術や地域の歴史、有形･無形の文化財に触れる機会が必要です。子どもや若者が、本物の文化芸術や地域の文化財に触れ、豊かな感性や創造性を育む機会の充実に努めます。

○コミュニティが連携できるまち

市内には、家庭、地域、学校、職場、各種団体などあらゆるコミュニティが存在します。これらが有機的に連携することにより、それぞれが活動し継承してきた文化活動は活性化します。個々の活動を尊重しつつ、それぞれが情報共有できる環境づくりを目指し、効果的な連携を促進します。

○地域文化が継承されるまち

先人の生活の中で取り入れられ、工夫され、生活に引き継がれてきた地域の習俗や伝統行事などの文化を世代間で共有することで、絶え間ない地域文化の継承が行われます。そのためには、地域文化が各世代間で共有され、世代間での受け渡しにより文化の継承がなされる環境づくりを目指します。

○文化と観光が一体となったまち

文化の振興は、まちの魅力を高める重要な要素であると同時に、観光をはじめ産業振興の一翼を担うものであり、新しい活力を生み出す原動力となります。文化的集積を産業振興の一助とし、文化と産業が一体となったまちづくりを目指します。

○ニーズに応じた情報発信を行うまち

提供される情報は、常に新鮮で、かつ、情報を得る人にとって有益であり、価値を認めてもらう必要があります。文化活動を行う市民や団体にとって、効果的な情報が得られるよう、また市内外へ本市の文化情報を提供できるよう、適切な情報発信を行っていきます。

○協働で文化を考えるまち

文化行政は国や県及び周辺の市町村の施策と連動して効果的に行われる必要があります。それぞれの動向を注視し、連携や協力を図りながら、本市の特性に応じた施策に取り組みます。文化行政を総合的、効果的に進める市の推進体制の充実が求められています。文化行政の全庁的な取り組みの強化と充実を目指します。

また、文化活動を行う個人や団体が必要とする情報提供を行い、必要とするもの同士が連携できるよう相談窓口的な業務を推進していきます。

５　ビジョンの推進に向けて

前述の「本市の文化行政の現状」、「本市の文化行政の課題」、「本市の文化行政の基本方針」を踏まえ、本市の文化が今後ますます発展していくよう、次のとおり取り組みを進めます。

（１）市民の文化活動の活性化

○市民の文化活動の充実

多くの市民が広く文化芸術や歴史文化遺産に触れ、鑑賞し、参加し、創造することができる機会や場の充実を図ります。

事業の実施にあたっては、市民のニーズや専門家の意見を活かすとともに、個人・文化団体・ＮＰＯを含む民間団体・企業・教育研究機関・行政など、各主体が各々の特色を活かした役割を持ち、連携・協働して文化振興を進めます。

さらに、個々の文化芸術活動を創造的に発展させるため、地域と人を文化でつなぐ人材育成事業の推進に努めます。

また、本市では従来から幅広いジャンルにおいて、多くの市民の音楽活動が活発であり、音楽によるまちづくりの推進を図ります。

○子どもたちの教育・文化活動の充実

次代を担う子どもたちの豊かな創造性、感性等を育むため、幼児期の教育をはじめ、学校教育や生涯学習の場において、地域や大学等との連携により、できるだけ幼いころから、多彩な優れた芸術、伝統文化や郷土の歴史・文化財に触れ、「聞く、見る、体験する、活動する」機会を充実するとともに、新たな文化創造の担い手の育成を支援します。

○若者の文化活動の活性化

若者の文化活動の活性化を図ることは、地域の文化活動に新たな活力を与えるだけでなく、高齢化が進んでいる市の文化活動全体の底上げにつながるものと期待されます。そのため、公共ホールでの若者の文化活動の発表機会の提供や様々な文化イベントへの参画など、若者の文化活動の活性化や人材育成を図ります。

○文化交流の活発化

近年のグローバル化の進展等により、文化イベント・スポーツイベント等で外国人が来訪する異種・異文化の国際交流が活発化しており、人的ネットワークの形成による交流の拡大を図ります。

（２）文化の保存・活用・継承

○歴史的文化遺産の保存・活用・継承の充実

本市の特徴的な歴史と文化を物語る貴重な遺産の調査・研究を充実させ、文化財の保存・活用・継承に資する措置を講じていきます。

また、歴史的文化遺産の公開や整備等による活用を図るとともに、歴史的文化遺産を支える人材の養成・確保、学習活動の充実に努めます。

○地域文化の保存・継承

市民が郷土に誇りや愛着をもち、個性的で魅力的なまちづくりを進めるためには地域の歴史や文化について理解を深め、次世代に継承することが必要です。

地域の中で育まれた生活文化や民俗行事、伝統芸能などの特色ある地域文化の保存・継承に努めます。

（３）文化施設の整備と活用

○博物館等の活用と充実

津山弥生の里文化財センター、津山郷土博物館、津山洋学資料館では、資料収集、調査、研究や民間資料の活用を積極的に進め、その成果を広く公開するとともに、特別展や講座・講演会等の充実により、生涯学習機会の提供や学習活動の振興、学校教育への支援、人材の育成を行います。

また、「津山洋学」をはじめとする津山の特徴的な歴史文化を、観光施策などと連携して全国へ情報発信していきます。さらに、知新館、作州民芸館など、本市が所有する文化施設の活用と民間文化施設との連携をとり、効果的な事業推進を図ります。

○公共ホールの活用と充実

平成３０年１０月 旧妹尾銀行林田支店をアートの拠点施設として改修し、オープンしたポート アート＆デザイン津山では、芸術文化の創造、育成発信の場とし、イベントを定期的に開催し、地域交流の促進を図ります。

文化センターなどの公共ホールについては、施設の規模や機能に応じた活用や市民が利用しやすい運営を行い、優秀な芸術活動の鑑賞や多彩な実演芸術に触れる機会の提供など、文化芸術の拠点として充実を図ります。

また、令和２年４月にリニューアルオープンの津山文化センターでは、アートライブラリーを新設し、市民の芸術活動の交流の場として、幅広い利用の促進を目指します。

○文化施設の整備

市民による施設の積極的な利用を促進し、安心して利用できる施設整備に努めるとともに、「津山市公共施設マネジメント基本方針」との整合性をとりながら、老朽化した文化施設を計画的に保全、改修を行い、施設の長寿命化を図ります。

また、市民が身近に本物の美術に触れることのできる、美術館機能を備えた拠点施設などの整備・充実を図ります。

○文化と産業振興

文化財や文化活動・行事が、まちづくりや観光の資源として有効に活用されるように努め、まちの活性化を目指します。

（４）文化情報の収集と提供・発信

○文化芸術情報のネットワーク化

個人、文化団体、ＮＰＯを含む民間団体、企業、教育研究機関、文化施設、行政などとの連携により、文化芸術情報のネットワークを構築し、よりよい文化芸術情報の提供・発信と文化芸術事業の実施を目指します。

○多様なメディアによる情報提供・発信

広範な文化情報の提供・発信を行うため、広報紙やチラシ等の紙面の活用やホームページ、ＳＮＳや動画共有サービスなどメディアの活用を行い、市内外への公開等を推進します。情報の発信に際しては、利用者の視点に立ち求められている情報を、機会を捉えて発信します。

（５）文化振興推進体制の充実

○文化行政の推進体制の充実

総合的・効果的な文化行政の推進を図るため、国や県及び周辺の市町村、また市での芸術文化・観光・産業支援・文化財・学校教育・生涯学習・都市計画などの関係部局の体制・連携を強化します。

○文化団体の推進体制の充実

津山市文化連盟などの芸術文化団体の支援や団体相互の交流を促進し、文化活動の活性化を図ります。

また、公益財団法人津山文化振興財団との連携により、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供などの、魅力ある文化芸術事業の実施や発表機会の充実を図ります。

資　料

１.施設
２.文化財
３.津山市文化振興ビジョン検討委員会設置要綱
４.津山市文化振興ビジョン検討委員会委員
５.津山市文化振興ビジョン検討委員会開催経過

１．施設

公共ホール		
津山文化センター（大ホール）	住所	電話番号
	津山市山下６８	０８６８－２２－７１１１
	施設概要	
	【客席数】1,003席（固定席） 【舞　台】間口18.0m　奥行き9.0m　高さ6.1m	
津山加茂町文化センター（大ホール）	住所	電話番号
	津山市加茂町塔中１１３－６	０８６８－４２－７０３１
	施設概要	
	【客席数】504席（固定席）、母子室6席（固定席） 【舞　台】間口13.00m　奥行き9.00m　高さ6.5m	
津山勝北文化センター（大ホール）	住所	電話番号
	津山市新野東５８４	０８６８－３６－７１２１
	施設概要	
	【客席数】555席（固定席）、親子室 6席 【舞　台】間口14.4m　奥行き10.0m　高さ7.0m	
音楽文化ホール・ベルフォーレ津山（ホール）	住所	電話番号
	津山市新魚町１７　アルネ・津山７階	０８６８－３１－２５２５
	施設概要	
	【客席数】600席（内可動席25席）、車椅子用スペース4席分 【舞　台】間口19.0m　奥行き10.0m　高さ15.3m	
津山市立文化展示ホール	住所	電話番号
	津山市新魚町１７　アルネ・津山４階	０８６８－３１－２５２５
	施設概要	
	【床面積】523㎡　天井高3.0m　壁面延長84.0m 【備　品】展示ケース7台　展示机44台　展示パネル56枚	
旧妹尾銀行林田支店（ポート アート＆デザイン津山）	住所	電話番号
	津山市川崎８２３	０８６８－２０－１６８２
	施設概要	
	【ギャラリー】本館ラウンジ、レンガギャラリー1・2、ホワイトギャラリー、金庫ギャラリー、中庭スペース	

博物館・美術館		
津山郷土博物館	住所	電話番号
	津山市山下９２	０８６８－２２－４５６７
	施設概要	
	【開館時間】午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで） 【休 館 日】月曜日（祝祭日の場合はその翌日）・祝日の翌日・12月29日～1月3日 【入 館 料】一般300円（240円）/高校生・大学生・65歳以上200円（160円）/中学生以下は無料　※（　）内は30名以上の団体料金	
津山洋学資料館	住所	電話番号
	津山市西新町５	０８６８－２３－３３２４
	施設概要	
	【開館時間】午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで） 【休 館 日】月曜日（祝祭日の場合はその翌日）・祝日の翌日・12月29日～1月3日 【入 館 料】一般300円（240円）/高校生・大学生・65歳以上200円（160円）/中学生以下は無料　※（　）内は30名以上の団体料金	
津山科学教育博物館 （つやま自然のふしぎ館）	住所	電話番号
	津山市山下９８－１	０８６８－２２－３５１８
	施設概要	
	【開館時間】午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで） 【休 館 日】月曜日（3､7､9月）月・火曜日（1､2､6､11､12月）その他の月、及び祝日は開館　12月29日～1月2日 【入 館 料】大人700円（600円）/小学生・中学生600円（500円）/幼児（4～5才）400円（300円）　※（　）内は20名以上の団体料金	
Ｍ＆Ｙ記念館 （棟方志功・柳井道弘記念館）	住所	電話番号
	津山市東一宮１３－８	０８６８－２７－３２３９
	施設概要	
	【開館時間】午前10時～午後5時 【休 館 日】木曜日、12月28日～1月4日 【入 館 料】500円	
カンダミュージアム	住所	電話番号
	津山市川崎１９２０－３	０８６８－２３－１２３０
	施設概要	
	【開館時間】午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで） 【入 館 料】無料	
保田扶佐子美術館	住所	電話番号
	津山市押入９７－１１	０８６８－２６－５７１１
	施設概要	
	【開館時間】午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで） 【開 館 日】土曜日、日曜日（平日でも予約により観覧可能） 【入 館 料】無料	

文化施設		
知新館 （第35代内閣総理大臣平沼麒一郎旧別邸）	住所	電話番号
	津山市南新座２６	０８６８－３２－２１２１（文化課）
	施設概要	
	【利用時間】午前9時から午後10時まで（使用料無料） 【休 館 日】12月28日から翌年1月4日まで	
箕作阮甫旧宅	住所	電話番号
	津山市西新町６	０８６８－３１－１３４６
	施設概要	
	【公開時間】午前9時30分から午後4時まで（入場無料） 【休 館 日】毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日）、12月29日から翌年1月3日まで	
城東むかし町家（旧梶村家住宅）	住所	電話番号
	津山市東新町４０	０８６８－２２－５７９１
	施設概要	
	【公開時間】午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）（入場無料） 【休館日】毎週火曜日（火曜日が祝日の場合翌日）、12月29日から翌年1月3日まで	
作州城東屋敷	住所	電話番号
	津山市中之町１９	０８６８－２４－６０９５
	施設概要	
	【公開時間】午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）（入館無料） 【休 館 日】水曜日（水曜日が祝日の場合翌日）、12月29日から翌年1月3日まで	
作州民芸館（旧土居銀行）	住所	電話番号
	津山市西今町１８	０８６８－２４－６６９０
	施設概要	
	【公開時間】午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）（入館無料） 【休 館 日】月曜日（月曜日が祝日の場合翌日）、12月29日から翌年1月3日まで	
城西浪漫館（中島病院旧本館）	住所	電話番号
	津山市田町１２２	０８６８－２２－８６８８
	施設概要	
	【公開時間】午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）（入館無料） 【休 館 日】月曜日（月曜日が祝日の場合翌日）、12月29日から翌年1月3日まで	
津山城下町歴史館	住所	電話番号
	津山市田町９３－１	０８６８－２２－８６８８
	施設概要	
	【公開時間】午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）（入館無料） 【休 館 日】月曜日（月曜日が祝日の場合翌日）、12月29日から翌年1月3日まで	

文化財施設		
津山弥生の里文化財センター	住所	電話番号
	津山市沼６００－１	０８６８－２４－８４１３
	施設概要	
	【展示室公開時間】午前9時から午後5時まで（ただし入館は午後4時30分まで） 【展示室非公開日】土曜日・日曜日・祝祭日・12月29日から1月3日まで、その他 【入　　館　　料】無料	
加茂町歴史民俗資料館	住所	電話番号
	津山市加茂町小中原１４３	０８６８－４２－３３１１ （加茂町福祉センター）
	施設概要	
	【開館時間】月曜日から金曜日・午前9時から午後5時まで 【休　館　日】土曜日・日曜日・祝祭日・12月29日から1月3日まで、その他 【入　館　料】無料	
勝北歴史民俗資料館	住所	電話番号
	津山市新野東１１２６	０８６８－３６－２１０１（勝北公民館） ０８６８－３６－２３１８（直通）
	施設概要	
	【開館時間】月曜日から金曜日・午前9時から午後5時まで 【休　館　日】土曜日・日曜日・祝祭日・12月29日から1月3日まで、その他 【入　館　料】無料	
久米歴史民俗資料館・民具館	住所	電話番号
	津山市中北下１２７１	０８６８－５７－２９３６ （久米公民館）
	施設概要	
	【開館時間】月曜日から金曜日・午前9時から午後5時まで 【休　館　日】土曜日・日曜日・祝祭日・12月29日から1月3日まで、その他 【入　館　料】無料	

2. 文化財

〈国指定文化財〉19件

（令和2年3月現在）

	名称	所在地	所有者	指定年月日	種別	分類
1	木造神号額	二宮601番地	高野神社	明治34年8月2日	重要文化財	工芸品
2	中山神社本殿	一宮695番地	中山神社	大正3年4月17日	重要文化財	建造物
3	総社本殿	総社427番地	総社	大正3年4月17日	重要文化財	建造物
4	院庄館跡(児島高徳伝説地)	神戸415番地他	国・作楽神社・個人	大正11年3月8日	記念物	史跡
5	太刀銘「国行」	神戸433番地	作楽神社	昭和4年4月6日	重要文化財	工芸品
6	木造随身立像	二宮601番地	高野神社	昭和31年6月28日	重要文化財	彫刻
7	津山城跡	山下83-3番地他	津山市	昭和38年9月28日	記念物	史跡
8	箕作阮甫旧宅	西新町6番地	津山市	昭和50年3月18日	記念物	史跡
9	田熊の舞台	田熊2384番地	田熊八幡神社	昭和50年9月3日	重要有形民俗文化財	
10	本谷のトラフダケ自生地	南方中236-2番地	津山市	昭和51年6月16日	記念物	天然記念物
11	美和山古墳群	二宮2064番地他	津山市	昭和52年3月8日	記念物	史跡
12	三成古墳	中北下814-3番地	津山市	昭和54年10月23日	記念物	史跡
13	鶴山八幡宮本殿	山北159番地	鶴山八幡宮	昭和55年5月31日	重要文化財	建造物
14	岡山県立津山高等学校本館(旧岡山県津山中学校)	椿高下62番地	岡山県	平成7年12月26日	重要文化財	建造物
15	旧津山藩別邸庭園(衆楽園)	山北628-1番地他	国・津山市	平成14年9月20日	記念物	名勝
16	美作国分寺跡	国分寺280番地他	津山市・個人	平成16年2月27日	記念物	史跡
17	木造獅子2対	二宮601番地	高野神社	平成16年6月8日	重要文化財	彫刻
18	本源寺	小田中1373番地	本源寺	平成25年8月7日	重要文化財	建造物
19	旧苅田家住宅	勝間田町17番地	津山市	平成28年7月25日	重要文化財	建造物

〈県指定文化財〉34件

	名称	所在地	所有者	指定年月日	種別	分類
1	徳守神社社殿	宮脇町5番地	徳守神社	昭和31年4月1日	重要文化財	建造物
2	鶴山八幡宮拝殿、釣殿及び神饌所並びに末社薬祖神社社殿	山北159番地	鶴山八幡宮	昭和31年4月1日	重要文化財	建造物
3	高田神社の獅子舞	上横野79-1番地	高田神社 横野獅子舞保存会	昭和32年5月13日	重要無形民俗文化財	
4	石造無縫塔 石造宝篋印塔	加茂町塔中342-2番地	個人	昭和34年3月27日	重要文化財	建造物
5	津山だんじり	小田中186番地他	伏見町町内会他	昭和43年4月19日	重要有形民俗文化財	
6	八幡神社及び物見神社の花祭り	阿波・加茂町物見	阿波八幡神社 物見神社	昭和47年4月21日	重要無形民俗文化財	
7	妙向尼画像 附 妙向尼消息	戸川町68番地	個人	昭和50年6月13日	重要文化財	絵画
8	新野東の宝篋印塔	新野東563-1番地	新野東地区	昭和51年3月31日	重要文化財	建造物
9	新野まつり	新野山形地区	山形八幡神社氏子	昭和52年4月8日	重要無形民俗文化財	
10	久米廃寺跡	宮尾533-3番地他	岡山県	昭和52年4月8日	記念物	史跡
11	高野神社本殿	二宮601番地	高野神社	昭和58年4月8日	重要文化財	建造物
12	岩屋城跡	中北上247-2番地他	津山市他	昭和62年4月3日	記念物	史跡
13	袈裟襷文銅鐸	山下92番地	津山市	平成3年4月5日	重要文化財	考古資料
14	尾所の桜	阿波1927-1番地	津山市	平成8年4月2日	記念物	天然記念物
15	刀剣製作技術	福井1947番地	安藤幸夫	平成9年3月25日	重要無形文化財	
16	紙本墨画淡彩江戸一目図屏風	山下92番地	津山市	平成10年3月24日	重要文化財	絵画
17	柳谷古墳出土遺物	沼600-1番地	津山市	平成12年3月28日	重要文化財	考古資料
18	大身槍熊毛槍鞘付附黒熊毛鞘	山下92番地	津山市	平成12年3月28日	重要文化財	歴史資料
19	日上天王山古墳・日上畝山古墳群	日上422-3番地他	津山市・個人	平成12年3月28日	記念物	史跡
20	妙法寺本堂	西寺町65番地	妙法寺	平成13年3月23日	重要文化財	建造物
21	刀銘藤原直胤（花押）天保八年一陽来復日	本町三丁目26番地	個人	平成15年3月11日	重要文化財	工芸品
22	梵鐘	小田中1203番地	安国寺	平成17年3月11日	重要文化財	工芸品
23	愛染寺鐘楼門及び仁王堂	西寺町98番地	愛染寺	平成18年3月17日	重要文化財	建造物
24	矢筈城跡（高山城跡）附伝草苅景継墓所	加茂町山下・知和	津山市他	平成18年3月17日	記念物	史跡
25	本源寺津山藩主森家一門墓附参道、石灯籠	津山市小田中1373番地	本源寺	平成21年3月10日	重要文化財	建造物
26	木工芸	津山市鉄砲町在住	小椋芳之	平成23年3月4日	重要無形文化財	
27	津山藩松平家文書	津山市山下92番地	津山市	平成24年3月9日	重要文化財	古文書
28	津山藩主松平家菩提所泰安寺	津山市西寺町	泰安寺	平成24年3月9日	記念物	史跡
29	泰安寺本堂及び表門 附寛永21年本堂建立棟札 宝暦6年表門修理棟札	津山市西寺町	泰安寺	平成25年3月1日	重要文化財	建造物
30	神伝流古式泳法	山北471番地	神伝流津山游泳会	平成25年3月1日	重要無形文化財	
31	大蔵池南製鉄遺跡	神代1670-3番地内	個人	平成28年2月5日	記念物	史跡
32	沼遺跡	沼599番地1他	津山市	平成29年3月7日	記念物	史跡
33	久米廃寺出土塑像仏及び塼仏	津山市山下92	津山市	令和2年3月13日	重要文化財	考古資料
34	手漉和紙（三極紙）	津山市上横野	上田繁男	令和2年3月13日	重要無形文化財	

〈市指定文化財〉158件

	名称	所在地	所有者	指定年月日	種別	分類
1	妙法寺の鰐口	西寺町65番地	妙法寺	昭和31年7月4日	重要文化財	工芸品
2	玉置家文書	山下92番地	津山市	昭和31年7月4日	重要文化財	古文書
3	愛山文庫資料	山下92番地	津山市	昭和31年7月4日	重要文化財	古文書
5	津山城外濠跡	大手町5-1番地	津山市	昭和31年7月4日	記念物	史跡
6	佐良山・剣戸塚古墳群と中宮1号墳	福田30-1番地他	個人	昭和31年7月4日	記念物	史跡
7	河辺上之町（桝形）	河辺1325-1番地他	津山市他	昭和31年7月4日	記念物	史跡
9	津山ひげくじら化石	山下97番地	津山科学教育博物館	昭和38年3月31日	記念物	天然記念物
10	近長四ツ塚古墳群	近長422番地他	個人	昭和38年7月1日	記念物	史跡
12	木造金剛力士像	西寺町98番地	愛染寺	昭和39年7月1日	重要文化財	彫刻
13	井口車塚古墳	河辺506-2番地	津山市	昭和39年7月1日	記念物	史跡
14	石林園	小田中1203番地	安国寺	昭和39年7月1日	記念物	名勝
15	国分寺飯塚古墳	国分寺213番地	個人	昭和40年7月1日	記念物	史跡
16	高野山西正仙塚古墳	高野山西1866番地他	個人	昭和40年7月31日	記念物	史跡
17	リンバーグ岩	桑下1694-3番地他	個人	昭和41年4月12日	記念物	天然記念物
18	油木北奥の前古墳	油木北194-1番地他	個人	昭和43年3月19日	記念物	史跡
19	狐塚古墳	久米川南2231-1番地	個人	昭和43年3月19日	記念物	史跡
20	岡の大塚	中北下1663-17番地他	個人	昭和43年3月19日	記念物	史跡
21	鋳場古墳	久米川南1111-1番地	津山市	昭和43年3月19日	記念物	史跡
22	大日古墳	宮尾913番地他	個人	昭和43年3月19日	記念物	史跡
23	山田原古墳	福田下372-1番地	個人	昭和43年3月19日	記念物	史跡
24	宮部焼窯跡	宮部下1073番地	個人	昭和43年3月19日	記念物	史跡
25	妙福寺のサルスベリ	中北上556番地	妙福寺	昭和43年3月19日	記念物	天然記念物
26	高津神社のコガの木	里公文1515-1番地	高津神社	昭和43年3月19日	記念物	天然記念物
27	南方中のサカキ	南方中138-1番地	個人	昭和43年3月19日	記念物	天然記念物
28	秋草双雀鏡・双雀鏡	加茂町小中原143番地	津山市	昭和43年3月26日	重要文化財	工芸品
29	岸道谷のナラ	加茂町河井390-1番地	個人	昭和43年3月26日	記念物	天然記念物
30	院庄貽文	院庄779番地	清眼寺	昭和44年7月2日	重要文化財	古文書
31	森忠政書簡	戸川町68番地	個人	昭和44年7月2日	重要文化財	古文書
32	本光寺の銀モクセイ	一宮332番地	本光寺	昭和44年7月2日	記念物	天然記念物
33	宰務家のヒイラギ	三浦245番地	個人	昭和44年7月2日	記念物	天然記念物
34	善福寺の宝篋印塔と板碑	里公文624番地	善福寺	昭和44年10月9日	重要文化財	建造物
35	牛岩遺跡	桑下1688-5番地	個人	昭和44年10月9日	記念物	史跡
36	祇園千人塚古墳	南方中1582-3番地他	津山市他	昭和44年10月9日	記念物	史跡
37	龍王塚古墳	久米川南2685番地他	個人	昭和44年10月9日	記念物	史跡
38	城垈上1号墳	久米川南1111-1番地	津山市	昭和44年10月9日	記念物	史跡
39	地蔵二つ塚古墳	久米川南316-1番地	津山市	昭和44年10月9日	記念物	史跡
40	大沢古墳5号	久米川南1111-11番地他	個人・津山市	昭和44年10月9日	記念物	史跡
41	七つ塚古墳群	戸脇190-1番地	個人	昭和44年10月9日	記念物	史跡
42	観音免古墳	神代1501-1番地	津山市	昭和44年10月9日	記念物	史跡
43	長者屋敷	久米川南267番地	個人	昭和44年10月9日	記念物	史跡
44	瓢箪山古墳	桑下1272-3番地他	津山市他	昭和44年10月9日	記念物	史跡
45	中須賀舟着場石灯籠	宮尾	個人	昭和44年10月9日	記念物	史跡
46	西御殿跡	桑下1510-1番地他	個人	昭和44年10月9日	記念物	史跡
47	阿波八幡神社の社叢	阿波1479・1480番地	阿波八幡神社	昭和44年10月30日	記念物	天然記念物
48	西登山金屋寺	阿波656番地	津山市	昭和46年2月10日	記念物	史跡
49	万燈山古墳	加茂町塔中606番地他	津山市	昭和46年3月1日	記念物	史跡
50	蛇谷古墳	油木北1520番地	個人	昭和46年3月24日	記念物	史跡
51	油木の源平椿	油木北773-2番地	個人	昭和46年3月24日	記念物	天然記念物
52	工門道標	新野東186-1番地	工門町内会	昭和48年3月31日	重要文化財	建造物
53	山形八幡神社の鰐口	新野山形2235番地	山形八幡神社	昭和48年3月31日	重要文化財	工芸品
54	大吉出土の須恵器大甕	大吉1020番地	五穀寺	昭和48年3月31日	重要文化財	考古資料
55	広戸神社と五穀寺境内	大吉1017番地他	広戸神社・五穀寺	昭和48年3月31日	記念物	史跡
56	西村の経塚	市場1215番地	個人	昭和48年3月31日	記念物	史跡
57	西村古墳群	西上476-1番地他	個人	昭和48年3月31日	記念物	史跡
58	清瀧寺宝篋印塔	河面330番地	清瀧寺	昭和48年10月20日	重要文化財	建造物
59	絹本著色十三仏図	上田邑470番地	安養寺	昭和48年10月20日	重要文化財	絵画
60	愛山松平家墓所	小田中185-1番地他	津山市他	昭和48年10月20日	記念物	史跡
61	宇那提森のムクノキ	二宮1960番地	高野神社	昭和48年10月20日	記念物	天然記念物
62	中山神社祝木のケヤキ	一宮685番地	中山神社	昭和48年10月20日	記念物	天然記念物
63	桑谷たたら遺跡	加茂町黒木683番地他	個人	昭和50年3月31日	記念物	史跡

64	青柳のヒノキ・スギ	加茂町青柳1042番地	個人	昭和50年3月31日	記念物	天然記念物
66	茶屋林道標	杉宮738番地	杉宮町内会	昭和50年4月1日	重要文化財	建造物
67	伝奥の前古墳出土内行花文鏡	里公文（伝油木北出土）	個人	昭和50年7月17日	重要文化財	考古資料
68	長谷のムクノキ	南方中188番地	個人	昭和50年7月17日	記念物	天然記念物
69	長田住居跡	加茂町青柳507番地	津山市	昭和50年9月1日	記念物	史跡
70	中山神社神門	一宮695番地	中山神社	昭和50年11月15日	重要文化財	建造物
71	大隅神社神門	上之町78番地	大隅神社	昭和50年11月15日	重要文化財	建造物
72	成道寺山門	西寺町18番地	成道寺	昭和50年11月15日	重要文化財	建造物
73	中山神社戦国武将文書	一宮695番地	中山神社	昭和50年11月15日	重要文化財	古文書
74	木造大日如来坐像	阿波3677番地	高福寺	昭和51年8月30日	重要文化財	彫刻
75	木造菩堤達磨圓覚大師坐像	阿波3677番地	高福寺	昭和51年8月30日	重要文化財	彫刻
76	木造阿弥陀如来坐像	阿波3677番地	高福寺	昭和51年8月30日	重要文化財	彫刻
77	木製太鼓の胴	阿波1479番地	阿波八幡神社	昭和51年8月30日	重要有形民俗文化財	
78	安井村庄屋古文書	安井146番地	個人	昭和52年4月22日	重要文化財	古文書
79	本丸城跡	市場1422-2番地他	個人	昭和52年4月22日	記念物	史跡
80	塩手池の礫岩と化石	市場161-1番地	塩手池土地改良区	昭和52年4月22日	記念物	天然記念物
81	桑谷向こう自然林	加茂町黒木652-1番地他	加茂町黒木部落	昭和52年12月9日	記念物	天然記念物
82	金剛寺の銀モクセイ・ツバキ	西上500番地	金剛寺	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
83	広戸神社境内のスギ	大吉1027番地	広戸神社	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
84	新善光寺のサルスベリ	中村393番地	新善光寺	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
85	西加茂神社のナナミノキ	杉宮406番地	西加茂神社	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
86	山形八幡神社の社叢	新野山形2238-2番地	山形八幡神社	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
87	朝吉神社のツクバネガシ	上村161番地	朝吉神社	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
88	藤蔵池頭古墳出土蛇行剣	里公文	津山市	昭和56年3月31日	重要文化財	考古資料
89	神代のコミカン	神代588-2番地	個人	昭和56年3月31日	記念物	天然記念物
91	神代のシイ	神代959番地	個人	昭和56年3月31日	記念物	天然記念物
92	キナザコ製鉄遺跡	加茂町黒木289番地	個人	昭和56年5月18日	記念物	史跡
93	石造芭蕉句碑	日本原	日本原町内会	昭和57年12月23日	重要文化財	建造物
94	一遍上人伝承地	中村393番地	新善光寺	昭和57年12月23日	記念物	史跡
95	神楽尾城跡	小原790番地他	津山市他	昭和61年7月10日	記念物	史跡
96	観音堂遺跡出土の備前焼の壺	新野東1126番地	津山市	平成元年6月20日	重要文化財	考古資料
97	観音堂遺跡出土の青磁碗	新野東1126番地	津山市	平成元年6月20日	重要文化財	考古資料
98	大岩出土の勝間田焼の壺	新野東1126番地	津山市	平成元年6月20日	重要文化財	考古資料
99	臥龍藤（千磐神社の藤蔓）	加茂町知和343番地	千磐神社	平成元年7月20日	記念物	天然記念物
100	五穀寺境内の紅梅	大吉1020番地	五穀寺	平成2年5月28日	記念物	天然記念物
101	旧妹尾銀行林田支店	川崎823番地	津山市	平成4年5月1日	重要文化財	建造物
102	田熊の算額	田熊2384番地	田熊八幡神社	平成4年5月1日	重要有形民俗文化財	
103	杉さま古墳	杉宮404-1番地	西加茂神社	平成4年9月25日	記念物	史跡
104	阿波八幡神社本殿	阿波1479番地	阿波八幡神社	平成5年4月23日	重要文化財	建造物
105	山寺古墳群	西中260-1番地	個人	平成6年4月20日	記念物	史跡
106	森長継逆修塔及び周囲の石柵	下田邑1068番地	千年寺	平成6年5月16日	重要文化財	建造物
107	荒神山城跡	荒神山123-1番地他	熊野神社	平成6年5月16日	記念物	史跡
108	佐良山碑	中島753番地	佐良山財産区	平成8年6月10日	重要文化財	建造物
109	妙願寺板戸障壁画	戸川町68番地	妙願寺	平成8年6月10日	重要文化財	絵画
110	極楽寺のカヤ	加茂町宇野954番地	極楽寺	平成8年11月26日	記念物	天然記念物
111	白加美神社社殿及び随身門並びに末社多賀神社社殿附・白加美神社絵図面	小田中254番地	白加美神社	平成9年3月19日	重要文化財	建造物
112	大隅神社本殿	上之町78番地	大隅神社	平成9年3月19日	重要文化財	建造物
113	医王山城跡	吉見1609番地	個人	平成9年8月7日	記念物	史跡
114	徳守神社神輿	宮脇町5番地	徳守神社	平成10年8月4日	重要有形民俗文化財	
115	絹本著色仏涅槃図	院庄779番地	清眼寺	平成11年1月13日	重要文化財	絵画
116	本光寺境内	一宮332番地他	本光寺	平成11年1月13日	記念物	史跡
117	河原山城跡	市場1129番地他	個人	平成11年1月29日	記念物	史跡
118	国司尾館	市場133-1番地他	個人	平成11年1月29日	記念物	史跡
119	高野神社随身門及び覆屋	二宮601番地	高野神社	平成11年9月24日	重要文化財	建造物
120	妙法寺鐘楼	西寺町65番地	妙法寺	平成11年9月24日	重要文化財	建造物
121	煙硝蔵跡	平福283-1番地他	個人	平成13年3月1日	記念物	史跡
123	大隅神社神輿	上之町79番地	大隅神社	平成13年7月26日	重要有形民俗文化財	
124	出雲街道絵図	河辺1511番地	個人	平成14年5月24日	重要文化財	歴史資料

125	津山城石切場跡	大谷47番地他	石山寺他	平成14年5月24日	記念物	史跡
126	宝蔵寺のヤマザクラ	加茂町斎野谷226番地	宝蔵寺	平成14年6月27日	記念物	天然記念物
127	長法寺阿弥陀堂腰高障子及び襖	井口246番地	長法寺	平成14年9月26日	重要文化財	絵画
128	牧山家文書	山下92番地	個人	平成14年9月26日	重要文化財	古文書
129	牧家文書	山下92番地	個人	平成14年9月26日	重要文化財	古文書
130	千代稲荷神社本殿	山下82番地	千代稲荷神社	平成15年2月17日	重要文化財	建造物
132	木造森忠政公坐像	小田中1373番地	本源寺	平成15年2月17日	重要文化財	彫刻
133	八出天満宮本殿附棟札等9枚	八出357番地	八出天満宮	平成15年9月30日	重要文化財	建造物
134	米井家文書	下高倉東1723番地	個人	平成15年9月30日	重要文化財	古文書
135	津山景観図屏風	山下92番地	個人	平成16年3月19日	重要文化財	絵画
136	木造千手観世音菩薩立像	河面330番地	清瀧寺	平成16年3月19日	重要文化財	彫刻
137	木造聖観世音菩薩坐像	加茂町公郷132番地	法福寺	平成16年8月16日	重要文化財	彫刻
138	妙願寺庫裏及び客殿	戸川町68番地	妙願寺	平成16年9月24日	重要文化財	建造物
139	知和の鰐口	加茂町小中原143番地	知和自治団	平成17年1月31日	重要文化財	工芸品
140	茶屋の一里塚	領家307-2番地	津山市	平成17年2月15日	記念物	史跡
141	徳守神社摂社住吉神社本殿	宮脇町5番地	徳守神社	平成17年3月24日	重要文化財	建造物
142	楢船着場跡の常夜灯	楢37-2番地	個人	平成18年10月26日	記念物	史跡
143	嵯峨山城跡	中島753番地他	佐良山財産区	平成18年10月26日	記念物	史跡
145	横野和紙製作技術	上横野1874番地	上田繁男	平成19年4月26日	重要無形文化財	
146	中山神社惣神殿	一宮695番地	中山神社	平成20年10月30日	重要文化財	建造物
147	地蔵院愛宕堂附棟札	小田中189番地	地蔵院	平成20年10月30日	重要文化財	建造物
148	大隅神社昭徳館(旧津山男子尋常高等小学校講堂)	林田1397番地	大隅神社	平成20年10月30日	重要文化財	建造物
149	千磐神社のスギ	加茂町知和343番地	千磐神社	平成20年10月30日	記念物	天然記念物
150	地蔵院本堂(旧東照宮社殿)	小田中183-1番地	地蔵院	平成21年3月26日	重要文化財	建造物
151	宗永寺五輪塔(森長継一門供養墓)	小田中１３０３－８番地	宗永寺	平成21年11月25日	重要文化財	建造物
154	大隅神社境内	上之町７８番地他	大隅神社	平成22年5月21日	記念物	史跡
155	殿田1号墳及び荒神西古墳出土遺物	沼600-1番地、中北下1271番地	津山市	平成23年1月25日	重要文化財	考古資料
156	津山松平藩主所用輿	津山市山下９２番地	津山市	平成23年4月26日	重要文化財	歴史資料
157	津山松平藩主所用乗物	津山市山下９２番地	津山市	平成23年4月26日	重要文化財	歴史資料
158	苅田家住宅及び酒造場	津山市勝間田町17番他	津山市	平成23年8月23日	記念物	史跡
159	千年寺第二代鐵堂道融和尚墳墓ほか歴代住持墓所	津山市下田邑1029番1	個人	平成24年6月26日	記念物	史跡
160	大隅神社の木造獅子狛犬	津山市上之町７８番	大隅神社	平成24年9月25日	重要文化財	彫刻
161	中山神社の太鼓	津山市一宮６９５番地	中山神社	平成25年4月23日	重要有形民俗文化財	
162	徳守神社の鉄盾	津山市宮脇町５番地	徳守神社	平成26年9月25日	重要文化財	歴史資料
163	矢吹家十二支箱文書	津山市山下９２番地	個人	平成27年4月23日	重要文化財	歴史資料
164	宇田川榕菴自筆資料	津山市西新町５番地	津山市	平成27年4月23日	重要文化財	歴史資料
165	脇差	津山市山下９２番地	個人	令和元年8月28日	重要文化財	工芸品
166	朱漆塗本小札啄木威丸胴具足(伝 結城秀康所用)	津山市山下92番地	個人	令和2年3月19日	重要文化財	工芸品
167	絹本着色 弘法大師・高野四社明神像	岡山市北区後楽園1－5	新善光寺	令和2年3月19日	重要文化財	絵画
168	絹本着色 弘法大師像	岡山市北区後楽園1－5	新善光寺	令和2年3月19日	重要文化財	絵画

〈登録有形文化財〉11件（建造物24件）

	名称	所在地	所有者	登録年月日	分類
1	城東むかし町家（主屋・付属屋・座敷・洋館・裏座敷・東蔵・西蔵・茶室・表門）	東新町40番地	津山市	平成9年5月7日	建造物
2	作州民芸館（旧土居銀行津山支店）	西今町18番地	津山市	平成9年5月7日	〃
3	森本慶三記念館（旧津山基督教図書館）	山下98番地1	津山社会教育文化財団	平成10年10月9日	〃
4	知新館（主屋・土蔵・塀・表門）	南新座26番地	津山市	平成10年10月9日	〃
5	翁橋	西今町	津山市	平成11年10月14日	〃
6	江見写真館	山下28番地	個人	平成12年2月15日	〃
7	あけぼの旅館	戸川町31番地1	個人	平成12年4月28日	〃
8	津山郷土博物館（旧津山市庁舎）	山下92番地	津山市	平成18年10月18日	〃
9	JR因美線美作滝尾駅駅舎	堀坂257-3番地	津山市	平成20年10月23日	〃
10	清水家住宅(主屋・納屋・土蔵・門及び井戸覆屋)	河辺字古屋敷889	個人	平成21年4月28日	〃
11	旧中島病院本館	田町122番地	津山市	平成22年9月10日	〃

〈登録記念物〉1件

	名称	所在地	所有者	登録年月日	分類
1	旧梶村氏庭園	東新町40番、西新町1番	津山市	平成24年1月24日	名勝地関係

〈重要伝統的建造物群保存地区〉1件

	名称	所在地	選定年月日
1	津山市城東伝統的建造物群保存地区	橋本町、林田町、勝間田町、中之町、西新町及び東新町の各一部	平成25年8月7日

３．津山市文化振興ビジョン検討委員会設置要綱

（目的及び設置）

第１条　津山市文化振興ビジョン（以下「文化振興ビジョン」という。）の策定にあたり，津山市の文化振興の基本方針や方向性について検討するため，津山市文化振興ビジョン検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（委員）

第２条　委員会は，委員８名以内をもって組織し，次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

⑴　学識経験を有する者

⑵　各種団体を代表する者又はその者が推薦する者

⑶　前２号に掲げる者のほか，教育委員会が特に必要と認める者

２　委員の任期は，委嘱の日から委員会の目的達成の日までとする。ただし，公職にあることにより委嘱された委員の任期は，その公職にある期間とする。

３　委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は，前任者の残任期間とする。

（任務）

第３条　委員の任務は，次に掲げる事項に関し意見を述べることとする。

⑴　文化振興ビジョンの策定に関する事項

⑵　津山市の文化に関する事項

⑶　前２号に掲げるもののほか，文化振興ビジョン策定に関し教育委員会が必要と認める事項

（会長及び副会長）

第４条　委員会に会長及び副会長各１人を置き，委員のうちから互選によって定める。

２　会長は，会務を総理する。

３　副会長は，会長を補佐し，会長に事故があるとき，又は会長が欠けたときは，その職務を代理する。

（会議）

第５条　委員会の会議は，必要に応じて会長が招集し，会長がその議長となる。

２　委員会において必要と認めたときは，委員以外の者の出席を求め，その説明又は意見を聴くことができる。

（庶務）

第６条　委員会の庶務は，生涯学習部文化課において処理する。

（その他）

第７条　この告示に定めるもののほか，委員会の運営に関し必要な事項は，会長が委員会に諮って定める。

附　則

（施行規則）

１　この要綱は，公示の日から施行する。

（失効）

２　この要綱は，令和２年３月３１日限り，その効力を失う。

4. 津山市文化振興ビジョン検討委員会委員

氏　　名	役員名	所　　属
八木 芙佐子	会 長	津山市文化連盟会長
森元 弘之	副会長	公益財団法人 津山文化振興財団常務理事
赤坂 健太郎	委 員	津山おくにじまん研究会
中田　稔	委 員	美作大学短期大学部学長補佐
久永　浩輝	委 員	加茂小学校長（津山市小中学校長会長）
福田 邦夫	委 員	一般社団法人 津山青年会議所理事長
山田 克惟	委 員	津山洋学資料館協議会長

5.津山市文化振興ビジョン検討委員会開催経過

第１回検討委員会
開催日時　令和元年11月14日（木）午後1時30分～
開催場所　東庁舎3階 生涯学習室
内容　・会長及び副会長選出
・改訂の趣旨、方向性について
・本市の文化行政の課題について
・意見交換

第２回検討委員会
開催日時　令和元年12月12日（木）午後1時30分～
開催場所　東庁舎3階 Ｅ301会議室
内容　・本市の文化行政の課題、基本方針について
・本ビジョンの推進について
・意見交換

第３回検討委員会
開催日時　令和2年1月17日（金）午後1時30分～
開催場所　議会棟2階 第3委員会室
内容　・津山市文化振興ビジョン（案）とりまとめ
・意見交換

令和２年３月発行
津山市文化振興ビジョン

津山市教育委員会生涯学習部文化課
〒708-8501　津山市山北 520
TEL0868-32-2121　FAX0868-32-2154
E-mail:bunka@city.tsuyama.lg.jp

津山市ホームページ
http://www.city.tsuyama.lg.jp/